

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2007-277313(P2007-277313A)

【公開日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-041

【出願番号】特願2006-102490(P2006-102490)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 3/04 (2006.01)

C 08 K 5/42 (2006.01)

H 01 B 1/24 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 K 3/04

C 08 K 5/42

H 01 B 1/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月30日(2009.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性樹脂(A)100質量部に対して、グラファイト(B1)5~100質量部、アルキルスルホン酸金属塩(C)1~15質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物。

【請求項2】

熱可塑性樹脂(A)100質量部に対して、グラファイト(B1)5~95質量%と炭素繊維(B2)95~5質量%からなる炭素系導電性フィラー(B)5~100質量部、アルキルスルホン酸金属塩(C)1~15質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物。

【請求項3】

前記(C)成分が、アルキル芳香族スルホン酸金属塩である、請求項1または2に記載の導電性樹脂組成物。

【請求項4】

前記(C)成分のアルキル部分が、C7~C16成分である、請求項3に記載の導電性樹脂組成物。

【請求項5】

前記(C)成分の芳香族部分がベンゼン環である、請求項3または4に記載の導電性樹脂組成物。

【請求項6】

前記(C)成分の主成分が、ドデシルベンゼンスルホン酸金属塩である、請求項3~5のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項7】

前記(C)成分の金属塩が、ナトリウム塩またはリチウム塩である、請求項1~6のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項8】

前記(A)成分が、ポリフェニレンエーテル系樹脂である、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 9】

前記(A)、(B)、(C)成分の合計 100 質量部に、更に、芳香族リン酸エステル系難燃剤(D) 5 ~ 40 質量部を含有してなる、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 10】

前記(A)、(B)、(C)成分の合計 100 質量部に、更に、フォスファゼン系難燃剤(E) 5 ~ 40 質量部を含有してなる、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の導電性樹脂組成物によって得られた、成形体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

即ち、本発明は、

- 1 . 熱可塑性樹脂(A) 100 質量部に対して、グラファイト(B1) 5 ~ 100 質量部、アルキルスルホン酸金属塩(C) 1 ~ 15 質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物、
- 2 . 熱可塑性樹脂(A) 100 質量部に対して、グラファイト(B1) 5 ~ 95 質量%と炭素纖維(B2) 95 ~ 5 質量%からなる炭素系導電性フィラー(B) 5 ~ 100 質量部、アルキルスルホン酸金属塩(C) 1 ~ 15 質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物、
- 3 . 前記 1 または 2 のいずれかにおいて、前記(C)成分が、アルキル芳香族スルホン酸金属塩である、導電性樹脂組成物、
- 4 . 前記 3 において、前記(C)成分のアルキル部分が、C7 ~ C16 成分である、導電性樹脂組成物、
- 5 . 前記 3 または 4 のいずれかにおいて、前記(C)成分の芳香族部分がベンゼン環である、導電性樹脂組成物、